

南消防署救急症例検討会

平成29年10月26日、南消防署において、症例検討会を実施しました。
救急活動での疑問点や苦慮した事案について、南消防署の職員で話し合い、
対処方法や改善策など活発な意見が交わされました。

検討会により知識の向上、情報の共有化が図られ、救急隊のレベルアップに
繋がりました。

症例検討会内容

「眼瞼に玩具がささったもの」

発表者：杉浦 唯司

「自宅内で誤って右手首を切創し活動性の出血が止まらない」

発表者：岡本 卓也

「原付バイクの自己転倒、直近2次病院に搬送するが重症のため転院搬送とな
った症例」

発表者：星野 由貴子

